兵庫県保険医協会
西宮芦屋支部ニュース

No. 295
2011・5・25

発行　兵庫県保険医協会　西宮・芦屋支部
〒662-0074
西宮市石刎町十八―八　大森内科医院内
連絡先　兵庫県保険医協会　電話　〇七八（三九三）一八〇一

緊急特別研究会

放射線について的確な状況判断を

西宮・芦屋支部は４月16日、兵庫県保険医協会で、協会研究部・薬科部と共催の緊急特別研究会「放射線災害報道を理解するための基礎的な知識～すでに放射線災害医療に遭遇かもしれない状況下にあります～」を開催。医師・薬剤師ら１６１人が参加した。本研究会は被災地での放射線被害の実態を受け緊急に開催したもの。医療法人明和病院放射線科放射線科　診療放射線技師　第１種・第２種放射線取扱主任者の樽岡照知氏が講演し、西宮・芦屋支部から広川恵一先生（西宮市・広川内科クリニック）、研究部から清水映二先生（たつの市・清水内科医院）、薬科部から長光由紀先生（伊丹市・ウイング調剤薬局）が司会を務めた。

樽岡氏は、福島第一原発事故による放射線被害について①放射線災害医療②原子力発電のしくみと安全確保③放射線・放射能をあらわす単位④放射線の性質・放射線の生体への影響⑤医療被ばくと放射線防護⑥将来に向けての問題提起―を講演。客観的に理解できる基礎的な知識を持ち、報道の過度の拒絶や安易な受け入れをせず、被ばくされ避難してきた方々と「侮らず怖がらず」向き合い、患者から聴取した情報をもとに的確な状況判断をすることが必要だとした。

また、放射線防護の基本原則として、①正当化の原則②防護の最適化の原則③線量限度の適用の原則―があり、これらの原則をもとに医療での放射線検査・治療はプラスの便益を生むことを患者に伝えることが大切とした。参加いただいた先生からの感想文を掲載する。

講師を務める樽岡氏

会場には医師・歯科医師・薬剤師ら 161 人がつめかけた

まずはじめにお断りしておきたいのは、私は84歳の老人で、受けた教育も今とはまったく違っている。原子爆弾が落とされてから、はじめて放射線の話が身近になったような世代である。

それで、樽岡さんの話を聞いてすべてを理解できるはずがない。そんな人が他にもあるだろうと思い、次にはこう話して欲しいという希望を述べたい。失礼な言い分であろうが、どうかご容赦いただきたい。そして、次の機会にはもっと理解を深めて、満足して帰る人の多いことを願っている。

話のテーマをもっと絞って欲しかった。なにもかも話さねばならないという演者のまじめな性格はよく分かるが、話が総花的になってしまって具体性に欠けるように感じた。どのくらい放射線を浴びれば、どんな障害を受けるとか、死ぬとかいうことが一番なのだから、私はそこが知りたかった。もう一度焦点を絞った話が聞いてみたいと思っている。

【西宮市・西林医院　西林　茂祐】

阪神・淡路大震災の経験と記憶を語り継ぐ

被災地での生活と医療と看護

～避けられる死をなくすために～

兵庫県保険医協会／協会西宮・芦屋支部編
発行　クリエイツかもがわ
Ａ５判１３６ページ
会員特価１，５００円（送料込）

※本書籍のお求め・お問い合わせは、
事務局 岡林・山田・伊藤まで
ＴＥＬ　０７８－３９３－１８１７

西宮・芦屋支部 第 31 回総会記念市民公開講演会

「ウミガメを学んで人間を知ろう！」

日　時：7 月 23 日（土）14 時 30 分～16 時
総会議事 14 時～　講演会終了後懇親会
会　場：西宮市立勤労会館大ホール
講　師：神戸市立須磨海浜水族園園長
亀崎 直樹 氏
入場料：無料

※どなたでもご参加いただけます。スタッフやお子様連れでぜひご来場ください。

世話人会だより

西宮・芦屋支部は４月22日に西宮医療会館で世話人会を開催。８人が参加した。

【報告】
①メディカルスタッフ勉強会（４・２）
②英語で診療#29（４・15）
③緊急特別研究会（４・16）

【予定・企画】
①審査対策研究会（５・21）
②国会議員との医療制度の勉強会（５・21）
③第９回胸部Ｘ－Ｐ読影会（５・27）
④職員接遇研修会（５・28）
⑤第26回漢方研究会（６・４）
⑥財政と医療制度の勉強会（６・25）
⑦第27回在宅医療研究会（７・16）
⑧第31回支部総会（７・23）
⑨健康と医療について語り合う会（７・28）
⑩支部設立30周年企画（10・22）

※世話人会の日程は毎月第４金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

Medical English #29

英会話に自信が持てるように

４月15日、西宮医療会館で「医療英会話　基礎その2」をテーマにMedical English#29を開催。Lobert Conroy氏が講師、坂尾福光先生（西宮市・ビューハイツクリニック）が司会を務め、医師・メディカルスタッフら11人が参加した。参加者の感想文を掲載する。

私の勤めるクリニックに外国人の患者が来ることは滅多にありませんが、たまに来られた時に思うように会話ができずもどかしい思いをしたことが何度かありました。そこで今回、医療英会話の勉強会があると知り、初めて参加させていただきました。

参加者一人ひとりに丁寧なアドバイスを行うコンロイ氏

私は受付業務をしていますが、例文が窓口で実用的に使えるものばかりで、とても参考になりました。

英語の勉強をすることが久しぶりだったので、理解できるか最初は不安でしたが、コンロイ先生はゆっくり、やさしい英語でしゃべってくださったので、内容がとても分かりやすかったです。

また、一般的な言い方だけでなく、丁寧な言い方と親しい間柄で使う言い方や、アメリカンイングリッシュとブリティッシュイングリッシュの言い方の違い、言葉の由来の説明があったりと、内容も充実していて大変勉強になりました。

「英語で診療」のテキストも購入したのですが、受付の英会話から始まり、看護師・医師の問診など、順を追って例文が挙げられているので、言い回しの一部の単語を置き換えて使えば非常に便利だと思います。

今までは英語に自信がなかったので、外国人の方が来られるとつい小声でしゃべったりジェスチャーでその場をしのいだりしていましたが、勉強会に参加したことでだいぶ自信が持てるようになりました。次の機会もぜひ参加したいです。

【西宮市・ふなもとクリニック　永井美紗】

第16回医療過誤訴訟セミナー

カルテについての留意点を解説

３月19日、西宮市立勤労会館で「医事紛争を避けるために」をテーマに第16回医療過誤訴訟セミナーを開催。鵜飼万貴子弁護士（大阪市・米田泰邦法律事務所）が講師、半田伸夫先生（西宮市・半田医院）が司会を務め、医師・看護師・薬剤師ら40人が参加した。

第16回目となる今回は、カルテを中心に解説。些細なことから実際に医事紛争にまで発展してしまった事件を題材に、後に紛争を招かないカルテの記載方法や、カルテについて問い合わせがあった場合の対処法などについて講演した。

争いの当事者になっていなくても裁判所や弁護士などからカルテの開示を求められるケースもあることから、カルテの記載については、普段より注意を払っておくことの重要性を強調した。

会場からの質問に答える鵜飼弁護士

講演後には多数の質問が寄せられ、参加者からは「具体的な事例がたくさん紹介され、とても参考になった」「カルテは第三者から開示を求められることもあるということを意識しながら記載しようと思った」などの感想が寄せられた。

第26回漢方研究会

【日　時】 6月4日（土）18時～19時半

【会　場】 西宮神社会館２階　福・寿の間

【テーマ】 「慢性痛に対する漢方治療」

【講　師】 順天堂大学医学部教授
順天堂大学附属順天堂江東高齢者医療センター
麻酔科・ペインクリニック
光畑　裕正　先生

※お問い合わせは、事務局岡林・山田・伊藤　078-393-1817 まで

職員接遇研修会

～接遇の基本とクレーム対応～

日　時：5月28日（土）14時～16時

会　場：西宮市立勤労会館４階第８会議室

講　師：大手前短期大学準教授
水原　道子　先生

参加費：1,000円（要事前申し込み）

－　医療安全管理受講証を発行します　－

※医療事務の方々をはじめ、医師・歯科医師、薬剤師、看護師ほかメディカルスタッフの方々のご参加をお待ちしております。

第9回胸部X-P読影会

日時：5月27日（金）　20時～

会場：西宮渡辺心臓・血管センター

特別講演：「膿性痰を見たら」

講師：尼崎市・はら内科クリニック　原　秀樹　先生

特別講演の後は参加の先生に持ち寄っていただいた胸部写真の検討会を行います。検討したい胸部写真をご持参ください。

症例のお持込みを歓迎いたします！